一般社団法人日本アレルギー学会
2025年度　事業報告書
(2025年8月1日から2026年7月31日まで)

Ⅰ．会員の異動状況

1）正会員

2025年7月31日現在	１２，９２４名
2026年7月31日現在	１３，０５８名
増減数	１３４名（増）

内訳　新入会員　６４７名
除退会員　４９４名
物故会員　１９名

役員（理事・監事）、代議員

2025年7月31日現在	理事２６名	監事２名	代議員３８４名
2026年7月31日現在	理事２６名	監事２名	代議員３８１名
増減数	０名	０名	３名（減）

2）名誉会員　2025年7月31日現在　３４名
2026年7月31日現在　３７名
増減数　３名（増）

3）賛助会員　2025年7月31日現在　２４社
2026年7月31日現在　２２社
増減数　２社（減）

Ⅱ．事業の状況

1．学術大会、講演会等の開催（定款 第５条 第１号）

1)第74回学術大会

会期：2025年10月24日(金)～10月26日(日)
会場：東京国際フォーラム
開催方法：ハイブリッド開催
現地開催　…　10月24日(金)～10月26日(日)
オンデマンド配信　…　11月13日(木)～12月22日(月)
参加登録者数：6,644名
（会期中来場者数　医師・一般：2,821名、メディカルパートナー：185名、前期研修医/学生/患者会：133名）
特別プログラム：合計 218演題（招請講演15、特別講演2、会長講演1、教育講演23、会長特別企画3、会長特別企画（若手医師企画プログラム）7、シンポジウム78、JSA-JSI 3、JSA-EAACI 3、JSA-WAO 3、特別企画4、働き方改革スイーツセミナー4、JSA-WAO2020記念研究助成プログラム8、教育セミナー50、イブニングシンポジウム14）
一般演題：合計 498演題（日本語：Mini Symposium 271、ポスター178、English Session：Oral 49
アレルギー74巻 抄録号　9月10日発行

2)第12回総合アレルギー講習会

会期：2026年3月14日(土)～15日(日)…現地実施
2026年4月6日(月)～5月11日(月)…オンデマンド配信
会場：パシフィコ横浜ノース
参加者総数：2,848名

（内訳）　現地参加者　959名
オンデマンド配信参加者　　2,058名
会　　員　2,626名
非　会　員　222名
講義数：47 講座（講義22、教育セミナー12、イブニングシンポジウム3、実習10）

3)第8回臨床アレルギー講習会
会期：2025年9月21日（日）
開催方法：Web開催（Live配信）＋事後学習用動画配信
受講者数：759名（会員 360名、非会員 399名）
講義数：14 講座（講義 9、実技指導（ビデオ）5）

4)地方会
全国8支部（北海道、東北、関東、北陸、東海、近畿、中国・四国、九州・沖縄）
〇第6回北海道地方会
会　長：竹崎　俊一郎（KKR札幌医療センター小児科）
開催日：2025年11月9日（日）
場　所：札幌市教育文化会館講堂
〇第7回東北地方会
会　長：山田　武千代（秋田大学大学院医学系研究科耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座）
開催日：2025年11月30日（日）
場　所：秋田市にぎわい交流館AU
〇第14回関東地方会
会　長：福家　辰樹（国立研究開発法人国立成育医療研究センターアレルギーセンター）
開催日：2025年12月13日（土）
場　所：秋葉原コンベンションホール（現地+Live配信）
〇第15回関東地方会
会　長：長瀬　洋之（帝京大学医学部内科学講座呼吸器・アレルギー学）
開催日：2026年6月20日（土）
場　所：秋葉原コンベンションホール（現地+Live配信）
〇第7回北陸地方会
会　長：牧野　輝彦（富山大学学術研究部医学系皮膚科学）
開催日：2025年11月24日（月・祝）
場　所：ホテルグランテラス富山
〇第7回東海地方会
会　長：鈴木　元彦（柊みみはなのどクリニック桜山/名古屋市立大学医学部耳鼻咽喉科）
開催日：2026年3月8日（日）
場　所：名古屋市立大学 大ホール
〇第13回近畿地方会
会　長：亀田　誠（大阪はびきの医療センター小児科）
開催日：2026年6月21日（日）
場　所：大阪国際会議場
〇第8回中国・四国地方会
会　長：千貫　祐子（島根大学医学部附属病院アレルギーセンター/島根大学医学部皮膚科学講座）
開催日：2026年2月28日（土）
場　所：松江テルサ（現地+Live配信）
〇第8回九州・沖縄地方会
会　長：室田　浩之（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科皮膚病態学）
開催日：2026年2月28日（土）
場　所：長崎ブリックホール

２．学会誌、ガイドライン、その他の刊行物の発行（定款 第５条 第２号）

1）和文誌　「アレルギー」74巻4～6号(抄録号は別途発行)、75巻1～3号　※2025年から年6回発行
発行日　74巻4～6号（8.10.12月 隔月10日）、75巻1～3号（2・4・6月 隔月10日）
発行形態 74巻学術大会抄録号 冊子 約13,000部 、電子ジャーナル（J-STAGE、電子書籍 KaLib、メディカルオンライン）に掲載

2）英文誌　「Allergology International」　74巻4号～75巻3号　計4回発行
発行日　2025年10月、2026年1月、4月、7月
発行形態 J-stageおよび Science Direct(エルゼビア)のオンラインジャーナルのみに掲載

３．専門医、指導医、教育研修施設等の認定（定款 第５条 第３号）

〇専門医数　5,516名（2026年7月31日現在）
内訳：内科　2,414名、小児科　2,017名、皮膚科　565名、耳鼻咽喉科　491名、眼科　29名

1）令和8年度（2026年度）　専門医の認定
受験申請者　274名
・令和8年度(2026年度)受験申請者274名および令和3年度(2021年度）の受験困難者1名の計275名を資格審査委員会にて書類審査し、受験有資格者と判定（2025年12月15日）
・令和8年度(2026年度)専門医認定試験をCBT方式にて実施、270名を新たに専門医として認定（2026年6月9日）

2）2025年度 指導医の認定
指導医申請者36名について、資格審査委員会にて随時審査、36名を新たに指導医として認定

3）2025年度 教育研修施設の認定
教育研修施設への申請46科、準教育研修施設への申請21科について、資格審査委員会にて随時審査
教育研修施設46科、準教育研修施設20科を新たに認定

4）令和8年度(2026年度）専門医の更新認定
申請者552名、資格判定会議にて552名の更新を認定

5）令和8年度（2026年度）　指導医の更新認定
申請者142名、資格判定会議にて142名の更新を認定

6）令和8年度（2026年度）　教育研修施設の更新認定
教育研修施設の申請130科、資格判定会議にて130科の更新を認定
準教育研修施設の申請15科、資格判定会議にて15科の更新を認定

４．研修及び教育の実施（定款 第５条 第４号）

(1) 専門医教育セミナー
1）第68回 Web開催（e-learningによる受講）　Web配信期間：2025年9月24日～10月23日
2）第69回 Web開催（e-learningによる受講）　Web配信期間：2026年6月1日～6月30日

(2) e-learning（E-learning for Allergy Trainees）の配信（随時作成・更新）

(3) 専門医制度集中研修（第19回相模原臨床アレルギーセミナー：共催）
2025年8月1日～9月1日　e-learningによるWeb開催

５．研究の奨励及び研究業績の表彰（定款 第５条 第５号）

1）2026年度海外研究留学助成金
学会Webサイトにて公募、応募者5名を国際交流委員会で審査し、理事会にて3名に決定

2）2025年度（第22回）日本アレルギー学会学術大会賞
第74回学術大会（2025年10月開催）で発表された研究業績を対象として学会誌および学会Webサイトにて公募、応募者17名を学術大会賞選考委員会で審査し、理事会にて5名が決定

3）2025 年度臨床研究支援プログラム
会員が行う臨床研究の推進や将来の研究のスタートアッププログラムとしての支援のため 2016 年から実施している。2025 年度は、応募者 19 件を研究推進委員会で審査し、理事会にて 5 件が決定

4）JSA WAO 2020 記念 研究助成プログラム 2026
2020 年に開催された第 69 回学術大会は、世界アレルギー機構(WAO)との共催だったが、その際の余剰金をもとに「JSA WAO 2020 記念 研究助成プログラム」を創設した。2026 年度(5 回目・最終年)の公募は、通

常枠19件、若手研究者枠18件を選考推薦委員会で審査し、理事会にて通常枠6件、若手研究者枠5件が決定

5) サノフィ優秀論文賞2026年
サノフィ株式会社からの支援を受け「サノフィ優秀論文賞」を毎年企画している。2026年は5年目で、応募者62件を研究推進委員会とAllergology International編集委員会で審査し、理事会にて一般部門26件、Allergology International部門は8件が決定

6．関連学術団体との連絡及び協力（定款 第5条 第6号）

1) 専門医制度関連：第1回 機構認定サブスペシャルティ領域懇談会に参加（2025年8月20日）、日本専門医機構及び日本内科学会と面談（2026年2月19日）、日本専門医機構サブスペ委員長及び日本内科学会専門医制度審議会長と意見交換会（2026年3月14日）、日本内科学会の「内科サブスペシャルティ領域審査協議会」の下部組織として、「アレルギー領域小委員会」を設置することが日本専門医機構により承認されたため、基本領域学会（内科、小児科、皮膚科、耳鼻咽喉科、眼科）に対し、委員の推薦を依頼（2026年7月28日）

2) 公益財団法人日本アレルギー協会との連携協力：第74回学術大会共催。同協会主催「アレルギー週間」（2025年12月1日～2026年4月30日）を後援

3) 内科系学会社会保険連合：アレルギー関連委員会運営団体として社員総会・運営委員会に参加。内保連例会及び呼吸器関連委員会・遠隔医療関連委員会に委員参加。アレルギー関連委員会を開催し、2026年度（令和8年度）診療報酬改定に向けての医療技術評価や再評価の提案・調整を行い、関係学会と共同で厚生労働省に提案

4) 日本医学会：評議員会、臨床部会、医学用語委員会等に委員派遣、分科会としての活動に参加

5) 日本医療安全調査機構：診療行為に関連した死亡の調査について協力関係学会として、全国7ブロックの統括責任者、ブロックごとに推薦担当者窓口および個別調査部会員を配置し、協力体制をとっている。本学会は日本医療安全調査機構の社員として、社員会費（医療安全分担金）を拠出

7．国際的な研究協力と交流の推進（定款 第5条 第7号）

1) World Allergy Organization(WAO)との活動
・WAO House of Delegates（2025-26）
日本アレルギー学会から4名の代表を登録（国際交流委員会委員長、副委員長、委員2名）
・WAO Board of Directors　Counselor：海老澤元宏理事長
・JSA-WAO Symposium 第74回学術大会中に開催（2025年10月24日）

2) European Academy of Allergy and Clinical Immunology（EAACI)との交流
・JSA-EAACI Symposium 第74回学術大会中に開催（2025年10月24日）
・EAACI Congress 2026にJSA Sessionが開催され、講演者3名を派遣(2026年6月12日）

3)ドイツアレルギー学会(DGAKI)との交流
・JSA-DGAKI Joint Meeting German Allergy Congress 2025に講演者3名を派遣(2025年10月1～3日）

4) イギリスアレルギー学会(BSACI)との交流
・Global Allergy Online Symposium 2026にGuest Partner Societyとして、講演者4名が登壇
（2026年1月23日）

5) 韓国アレルギー学会(KAAACI)との交流
・KAAACI Seoul International Congress 2026 に講演者6名を派遣（2026年5月7～9日）

8．普及啓発活動（定款 第5条 第8号）
学会Webサイトの一般向けコンテンツ
・アレルギーに関する解説、疾患の説明及びQ&A等の掲載
・本学会専門医の検索サイト掲載（都道府県、専門、氏名、病院名で検索）
・関連機関からの一般市民向けの情報等掲載

9．その他目的を達成するために必要な事業（定款 第5条 第9号）
・アレルギー情報センター事業（厚生労働省補助事業）
アレルギーポータルは2018年10月から運用を開始し、7年が経過したが、以前から、知りたい情報に辿り着けない、分かりづらい等、厚労省からも改善要望があり、さらに、実際にこのサイトが有効活用されているかも含め、多くの課題を抱えていたことから、同サイトの運営会社を変更した上で、2026年4月公開に向けてリ

ニューアルを行った。今回のリニューアルでは、一般の方から医療従事者の方まで、どなたにとっても利便性が高く、必要な情報へ速やかにアクセスできるよう、サイト構成や導線およびデザインの刷新を図っており、SNSでの情報発信も強化した。また、アレルギー相談員養成研修会を2025年11月に開催（Live配信、研修会後オンデマンド配信）するとともに、医療関係者の研修の一助となるよう「アレルギーの手引き2026（医療従事者が身につけておくべき知識）」を作成した。

・第10回働き方改革推進奨励賞

ワーク・ライフバランスの向上に関する経験や工夫について、2016年度から「奨励賞」を設け、男女共同参画の理念も含めた働き方改革活動を積極的に推進している会員または所属機関を表彰し公開している。2025年度「第10回日本アレルギー学会働き方改革推進奨励賞」は、学会誌及び学会Webサイトで公募し理事会にて受賞者を決定した。

受賞者：相原道子（横浜市立大学）
斎藤博久（国立成育医療研究センター研究所 免疫アレルギー感染研究部）

Ⅲ. 会議等

<u>理事会・社員総会</u>

１．第8期 第2回常務理事会
日時：2025年10月23日（木）13：30～14：00
場所：日比谷国際ビルコンファレンススクエア 8D
出席：理事長、副理事長、常務理事5名

２．第8期 第5回理事会
日時：2025年10月23日（木）14：15～15：40
場所：日比谷国際ビルコンファレンススクエア 8D
出席：理事長、副理事長、理事23名、監事1名、支部長6名

３．第17回定時社員総会
日時：2025年10月24日（金）19：00～20：05
場所：東京国際フォーラム　ホールB7-2
出席：社員290名（委任状又は議決権行使書提出159名含）、監事1名、陪席14名

４．第8期 第6回理事会
日時：2026年1月16日（金）18:30～19:30
場所：Web開催
出席：理事長、副理事長、理事24名、監事2名

５．第8期 第3回常務理事会
日時：2026年3月13日（金）14:30～14:50
場所：パシフィコ横浜ノース　3F「G314＋G315」
出席：理事長、副理事長、常務理事5名

６．第8期 第7回理事会
日時：2026年3月13日（金）15:00～16:20
場所：パシフィコ横浜ノース　3F「G314＋G315」
出席：理事長、副理事長、理事20名、監事2名

７．第8期 第8回理事会
日時：2026年7月17日（金）18:30～20:15
場所：Web開催
出席：理事長、副理事長、理事23名、監事2名

<u>理事候補者会議</u>

１．第9期 第1回理事候補者会議
日時：2026年6月2日（火）18:00～18:25
場所：Web会議
出席：理事候補者24名、監事候補者2名（理事長含む）

２．第9期 第2回理事候補者会議

日時：2026年7月10日（金）18:00～18:30

場所：Web会議

出席：理事候補者23名、監事候補者2名

各種委員会

〇総務委員会（メール審議：2025年9月、2026年6月）

2024年度事業報告書案、2026年度事業計画書案の検討

〇選考推薦委員会(2026年6月24日、メール審議：2026年1月15日)

功労会員・名誉会員の推薦、JSA WAO 2020 記念 研究助成プログラム2026の公募、受賞者の選考および研究助成、外部賞の公募情報を学会Webサイトで会員に周知

〇利益相反委員会

「医学系研究の利益相反（COI）に関する共通指針」2024年4月改訂に伴う当学会の対応について検討

利益相反（COI）自己申告書提出依頼（役員、委員会委員長、特定委員会委員など）

〇財務委員会（メール審議：2025年9月、2026年6月）

2024年度決算案および2026年度予算案を作成

〇学術大会委員会（2026年6月26日）

第77回学術大会の運営会社を選定

〇総合アレルギー講習会委員会（2026年2月25日、2026年3月27日、7月16日）

第12回総合アレルギー講習会の実施方法、実施マニュアル、当日の運営の確認。第13回総合アレルギー講習会の開催概要。講義・実習プログラム等の内容の検討、座長・講師、実習責任者の推薦者確認

〇学術委員会（2025年9月30日）

各附置委員会と連携し、新たに本学会会員からのタスクフォース設置の申請およびガイドライン・診療の手引き作成の申請手続きについて検討

〇下気道アレルギー委員会（2025年9月16日、2025年11月25日）

「喘息予防・管理ガイドライン（JGL）2027」発刊に向けて喘息予防・管理ガイドライン2027WGの委員を選定

＊喘息予防・管理ガイドライン2027ワーキンググループ（2026年4月23日、2026年4月30日）

「喘息予防管理ガイドライン2027」発刊に向けて検討

〇皮膚アレルギー委員会

＊アトピー性皮膚炎診療ガイドライン2028ワーキンググループ

「アトピー性皮膚炎診療ガイドライン2028」（公益社団法人日本皮膚科学会と共同出版）発刊に向けて検討

〇食物アレルギー委員会

＊合同委員会（日本小児アレルギー学会との合同開催）（2025年9月3日、2026年1月13日）

「食物アレルギー診療ガイドライン2026」(2026年11月28日～29日に開催される第63回日本小児アレルギー学会学術大会で発刊予定）の作成に向けて検討

〇アレルゲン・免疫療法委員会（2024年12月12日）

「皮膚テストの手引き2025」を2025年8月30日に発刊

〇Anaphylaxis 対策委員会(2026 年 3 月 10 日、4 月 27 日、メール審議 3 回)

「医療従事者用プレフィルド型アドレナリン製剤に関する調査」を実施。EAACI Anaphylaxis キャンペーンへの参加、アンケート内容の翻訳業務。ヴィアトリス教育助成金を受諾し、啓発サイトをリニューアル予定。

「アナフィラキシーガイドライン 2022」PDF 版の一部改訂に向けて検討

〇好酸球関連疾患委員会（2025 年 9 月 2 日、11 月 27 日、2026 年 6 月 8 日）

副委員長の選定とアドバイザーの追加、委員会名称の変更、今後の活動についての意見交換、和文総説の作成についての検討。JSA-WAO2026 委員会企画の検討。英文総説、診療の手引きの作成についての検討、KAAACI の好酸球関連 WG との交流事業について、タスクフォース設置の検討

〇薬物アレルギー委員会（2026 年 5 月 25 日、メール審議：2025 年 10 月 14 日）

アレルギー総合ガイドラインの薬物アレルギーの章についての英文化とその改訂版に関する検討、今後の活動についての意見交換。次回診療報酬改定に向けた「薬物負荷試験」についての検討

〇研究推進委員会（2026 年 2 月 26 日、メール審議：2026 年 2 月 10 日、6 月 3 日）

Allergology International 編集委員会と共に、サノフィ優秀論文賞（2026 年）の公募、受賞者の選考、2025 年度臨床研究支援プログラムの公募、受賞者の選考

○学術大会賞選考委員会（2026年5月28日）
第22回学術大会賞の公募および受賞者の選考
○和文誌「アレルギー」編集委員会
（2025年11月13日、2026年6月5日、メール審議：2026年5月11日、2026年5月19日）
学術大会特別講演演者からの「綜説」、「専門医のためのアレルギー学講座」は、総合アレルギー講習会のテーマを基本にシリーズを構成、「ガイドラインのワンポイント解説」は常に新しいガイドライン情報を提供（不定期掲載）、「アレルギー用語解説シリーズ」（専門医を目指す会員が知っておくべきレベルの用語解説を基本とし毎号3編程度）掲載、「私のアレルギー史」は名誉会員に寄稿を依頼（年1編程度）
○英文誌「Allergology International」編集委員会（2025年11月26日、2026年5月13日、7月1日）
J-stageおよびScience Direct(エルゼビア)にオンラインジャーナル掲載。2026年1月より表紙デザインを刷新した。2025年インパクト・ファクター(IF)は6.2
○専門医制度関係
＊専門医制度委員会（メール審議：2026年7月23日）
総合アレルギー講習会現地参加およびe-learning（EAT）の業績必須化について検討
＊専門医制度・資格審査・試験問題作成・教育研修合同委員会（2026年2月10日）
専門医、指導医、教育研修施設の認定、更新認定、令和9年度（2027年度）専門医試験の日程について検討、専門医制度規程（内規）の修正および制定について検討
＊資格審査委員会
（2025年12月15日、2026年6月29日、メール審議：2025年12月22日、2026年2月2日、2月24日）
令和8年度（2026年度）認定専門医申請者の書類選考および申請者275名全員の受験資格を承認、専門医（指導医）申請・更新における有効な症例について検討、専門医制度規程（内規）の修正及び制定について検討
＊試験問題作成委員会（2025年9月11日、2026年1月10日、6月9日、メール審議：2026年6月17日、7月23日）
令和8年度（2026年度）試験問題の作成方針・確認作業・確認分担の検討および試験結果を確認、令和8年度（2026年度）認定専門医試験を2026年4月26日(日)にCBT方式で実施
＊教育研修委員会（2025年8月26日、メール報告：2026年12月9日）
第69回・第70回専門医認定教育セミナープログラム案・講師候補の検討、2026年度以降の完全WEB開催を決定
＊機構認定専門医特別委員会（2025年8月6日、2026年5月19日、メール審議：2025年8月29日）
日本内科学会に対し整備基準および研修カリキュラムの審査の一時凍結を申し入れおよび日本専門医機構へ要望書を提出、アレルギー領域小委員会の委員検討および基本領域学会に委員の推薦依頼
＊関連団体
日本専門医機構主催 2025年度第１回サブスペシャルティ領域懇談会（2026年8月20日）
日本内科学会および日本専門医機構と面談（2026年2月19日、 3月14日）
○国際交流委員会（メール審議：8回)
WAO、European Academy of Allergy and Clinical Immunology（EAACI)、 DGAKI（ドイツアレルギー学会)、KAAACI(韓国アレルギー学会)等との交流事業。第74回学術大会におけるEnglish Sessionの企画、開催。Kenji Mano Travel Grantの公募、運営。2026年度海外研究留学助成金の公募、選考
○診療報酬・医療問題検討委員会(医療戦略委員会と合同委員会：2026年3月16日、メール審議：2026年5月11日）
2028 年度（令和 10 年度）診療報酬改定に向けて、学会員を対象に診療報酬改定項目に関する意見聴取（2026 年 4 月 16 日～2026 年 4 月 30 日）を実施し、次回の候補を検討
○医療戦略検討委員会
＊医療戦略検討委員会および診療報酬・医療問題検討委員会合同会議（2026年3月16日）
○働き方改革推進委員会（2026年2月14日、6月4日）
第10回働き方改革推進奨励賞受賞者を選考。第75回学術大会時開催の働き方改革推進委員会企画セミナーのプログラムの作成、演者の選定、Webアンケート、展示ブースの企画について検討
○広報委員会・Web編集委員会・啓発活動委員会（2026年6月30日）
第74回学術大会動画配信の実施、SNS発信の投稿体制、Webサイトの運用方針について検討

[特別委員会]
○アレルギー疾患対策基本法特別委員会（2025年10月）
「アレルギーポータル」サイトのリニューアルについてサイトの在り方、用途、デザイン等について意見聴取

○「新・臨床アレルギー学」編集特別委員会（2026年7月17日WGから特別委員会へ変更）
＊「新・臨床アレルギー学」編集WG（2026年2月20日、3月3日、4月7日、5月27日、6月17日）
編集方針の策定、領域責任者の選定および出版社の決定
○アレルギー専門研修・生涯教育のあり方検討特別委員会（2026年7月17日WGから特別委員会へ変更）
＊アレルギー専門研修・生涯教育のあり方検討WG（2026年4月6日、5月22）
アレルギー専門研修・生涯教育事業における課題の整理と具体的方策の検討

［その他委員会］
○選挙管理委員会（2025年11月10日、2026年3月11日代議員選挙、5月11日役員選挙）
2025年度代議員および役員選挙の開票を実施。当選者を確定
○臨床アレルギー講習会ワーキンググループ
＊第9回臨床アレルギー講習会ワーキンググループ（2026年1月20日）
第9回臨床アレルギー講習会の開催概要、運営方法、プログラム、日程、受講料、会場及び今後の運営について検討
○ジュニア委員会設立ワーキンググループ
本WGの委員により推薦された若手医師を中心に、第74回学術大会において「若手医師企画プログラム」を実施
＊会長特別企画「若手医師企画プログラム Flash Talk/Poster Talk」（2025年10月25日）